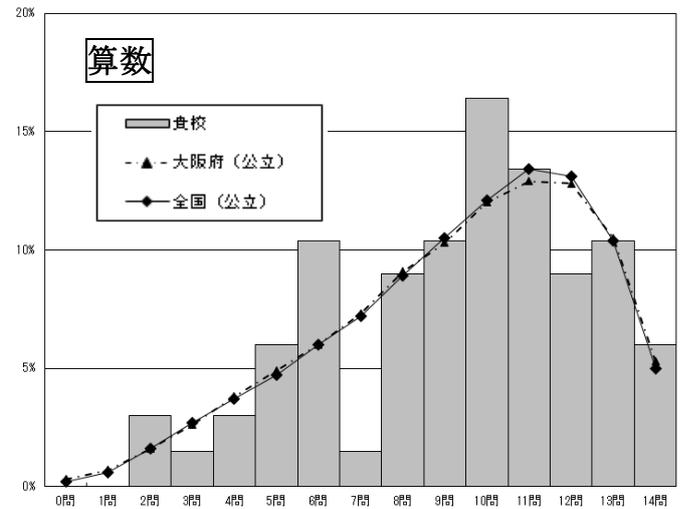
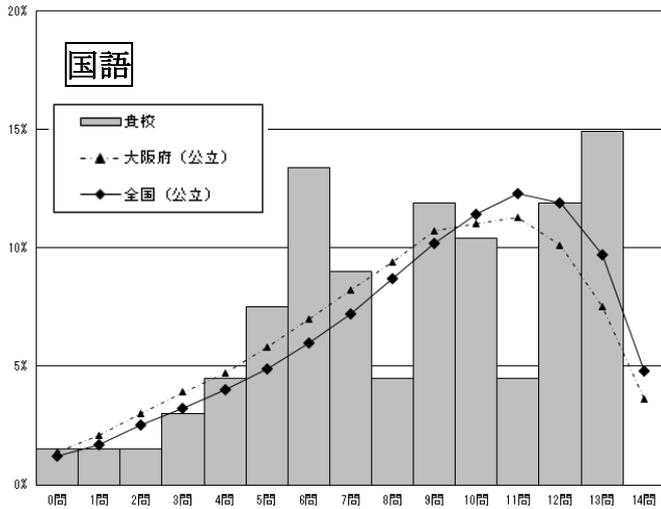
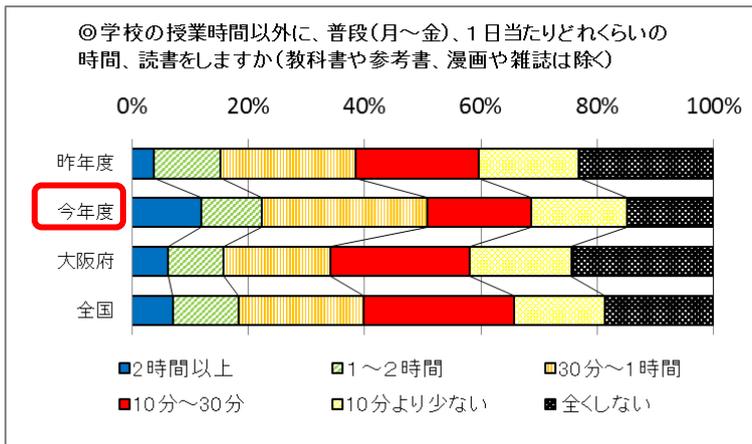


◎全国学力・学習状況調査の結果について

4月18日(木)に実施された全国学力・学習状況調査の結果を分析しましたところ、本校の平均は、国語は、大阪府の平均並みで、全国平均よりは若干下回りました。また、算数は、大阪府・全国平均並みでした。どちらも平均並みの結果でしたが、いくつかの課題があることがわかりました。



読書時間



国語は、『読むこと』の領域については、全国平均並みと高い結果でした。これは、大阪府・全国を大きく上回る読書時間が関係しているのではないかと考えております。今後も、授業でも、図書の本を使って調べ学習を行ったり、学級文庫等を引き続き整理したりして、児童が本に親しめるように努力していきます。

問題別でみると、『**文と文との意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を書くことができるか**』を問う問題の正答率が、大阪府・全国平均を大きく下回っていました。昨年度も、似たような問題の正答率が低い結果だったので、神田小学校児童は、**文章を推敲する力に課題**があるのではないかと考えております。

この課題を改善できるように、文のつながりを意識し、今まで以上に正しい文を書く指導をするなど、授業改善していきたいと思っております。ご家庭においても、宿題で作文や日記が出ているときに、正しい文を書けているかどうか見ていただいたり、単語で会話をするのではなく、文で会話することを心がけていただいたりして、正しい文にふれる機会を多く持っていただくようによろしく願いたします。

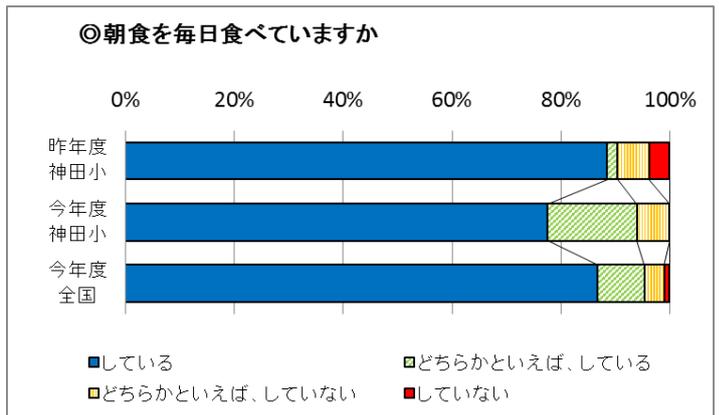
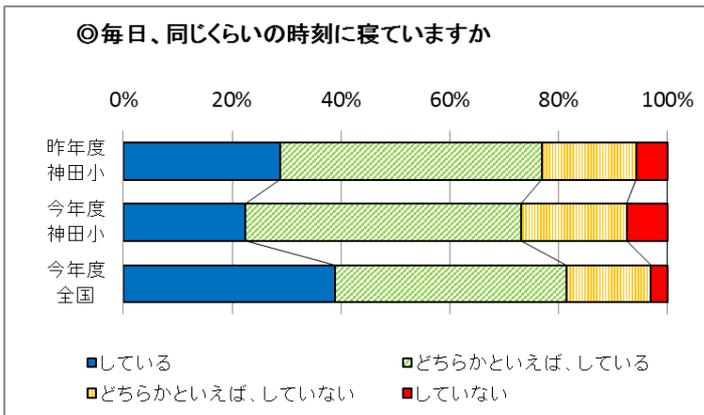
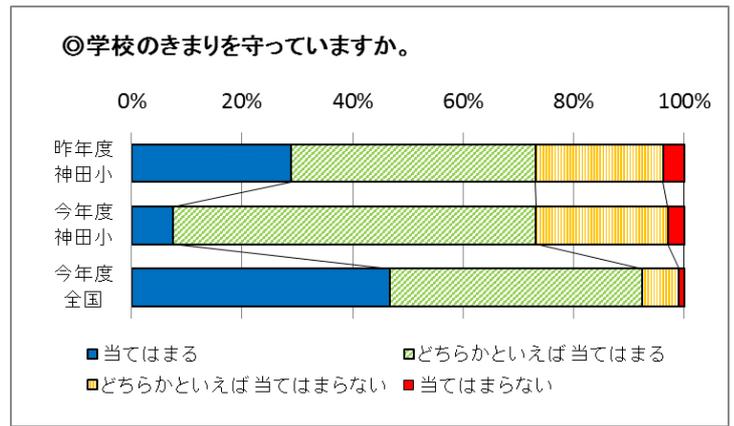
算数では、今年度も全問正解の児童も多く、全体としても「数と計算」領域など基本的な問題は、大変よくできていました。しかし、「図形」については、大阪府・全国平均を下回っていました。問題別でみると、『**図形をずらしたり、回したり、裏返したりすることで、ほかの図形を構成することができるか**』を問う問題の正答率が、大阪府・全国平均を下回っていました。日頃から行っていますが、問題解決の場面で、実際に具体物を活用して、操作をイメージできるように工夫していきたいと考えております。また、数学的活動を様々な場面で取り入れ、考える楽しさや新しい知識・技能を発見する喜びを実感できるようにしていきたいと思っております。

どちらの教科も**無解答率が低く、記述問題でも、根気よく取り組むことができていました。**どの

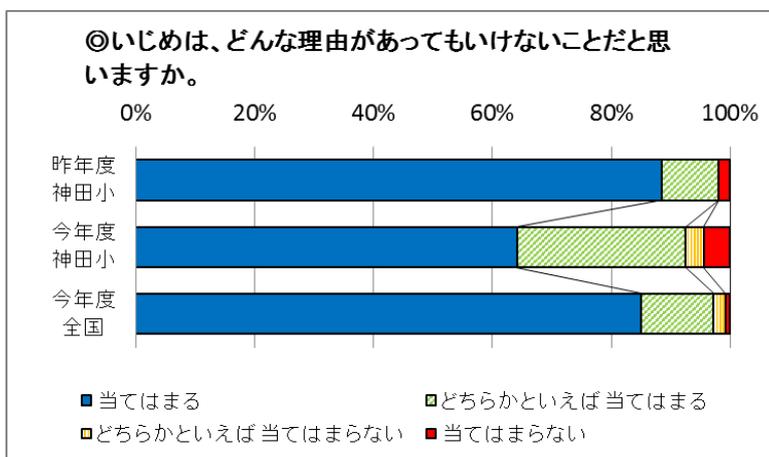
教科でも、書く活動を意識的に多く取り入れてきた成果が少しずつ表れてきています。

学校のきまりを守っていますか

児童質問紙による学習状況調査では、日常生活における児童の様子について、例年と同じような傾向が見られ、本校の課題がわかりました。一つ目は、「**きまりを守っていますか**」の問いに対して、肯定的に答える児童が少なく、全国平均と比べてもとても低い結果となったことです。学校として、規範意識を育てていけるように学年に応じた指導を、繰り返し行っていきたくと思います。ご家庭でも、きまりを守る大切さについて話をさせていただくようによりよろしくお願い致します。二つ目は、**基本的な生活習慣**についてです。TM通信でもお知らせしたとおり、「**毎日、同じくらいの時間に起きているか(寝ているか)**」等、生活習慣に関する問いに対して、肯定的に答える児童が、全国に比べて、少ない結果でした。生活が不規則になっている児童が、全国と比べても、とても多いです。TM通信でも説明しましたが、生活習慣の改善が、学力向上につながるという結果が出ています。ご家庭でも、「早く寝られるように、〇時以降はテレビを見ない。」等、ご家庭での過ごし方について、一度話し合ってみてください。



いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



児童質問紙の結果で、一番気になった結果が**いじめに関する問い**です。「当てはまる」と、強い肯定で答えている児童が少ないだけでなく、否定的に答えている児童も多く、**人権意識の低さ**が、とても気になりました。特に、この問いは、肯定的な回答100%をめざしたいと考えております。この結果を受け止め、道徳の授業等で、いじめについて考えていく機会を、繰り返しつくっていきたくと思います。

本校では、これらの結果を真摯に受け止め、これからも教職員一同力を合わせて、児童の学力向上に向けた取り組みに一層努力してまいりたいと思います。今後とも、本校教育に対し、ご理解とご協力をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。